

## 重点課題7. 社会資源の充実

誰もが安心して安全な生活を送るためには、社会環境において、バリアフリーやユニバーサルデザインによるハード面の整備は欠かせません。

一方、ソフト面では、地域で様々な活動をされている市民の方々やボランティア、市民活動団体、民間事業者、NPO 法人等の取り組みが、より障がいのある人への充実した支援につながるよう、様々な連携や協働が必要です。

また、災害時において障がいのある人が不安や混乱に陥ることのないよう、適切な配慮に基づいて対応ができる体制の整備を図ることが必要です。

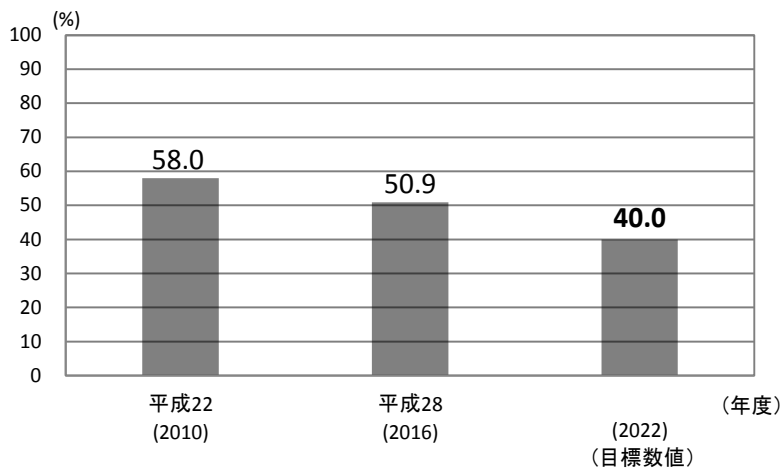
- 基本施策 (1)バリアフリー・ユニバーサルデザインの充実
- 基本施策 (2)地域における支援体制の充実とネットワークの構築
- 基本施策 (3)市民団体・ボランティアの活動やインフォーマルサービスの推進
- 基本施策 (4)防災・災害対策等の整備

### ■重点課題 アンケート結果を踏まえた数値目標

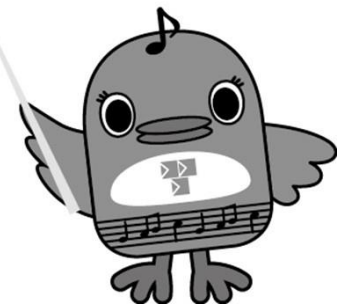
【在宅の人(18歳以上)対象調査】 社会参加について

問27:あなたには、外出するときに困っていることはありますか。(複数回答可)

数値目標の指標:「歩道の段差や障害物」「建物の段差や階段」「周りの人に手助けを頼みにくい」の選択肢の回答率の合計



目標数値  
40.0%



障がいのある在宅の人(18歳以上)が外出するときに困っていることについて、ハード面とソフト面それぞれについての主な選択肢の回答率を指標としました。平成22年度の調査は58.0%でしたが、平成28年度は50.9%と減少しています。今後の各種施策への取り組みにより、この回答率の更なる減少を目指し、2022年度の目標数値は40.0%とします。

# 基本施策 (1)バリアフリー・ユニバーサルデザインの充実

## ■現状と課題

交通環境のバリアフリー化については、習志野市バリアフリー移動等円滑化基本構想等に基づき取り組みを進めておりますが、市内全域における道路及び建築物等のバリアフリー化については、まだ十分とは言えない状況です。

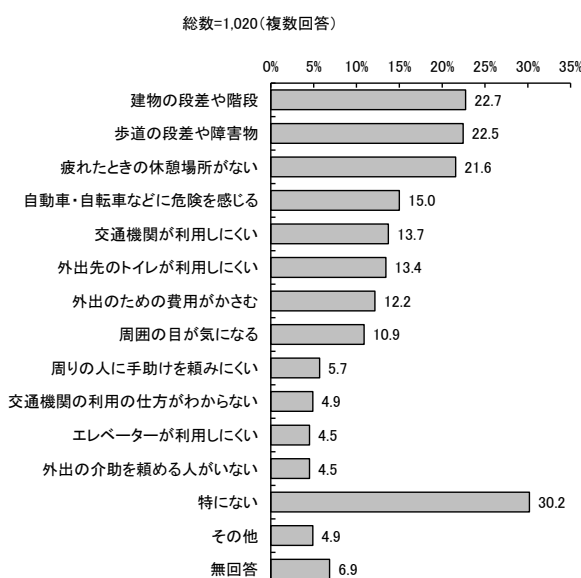
外出するとき困っていることのアンケート結果では、「建物の段差や階段」「歩道の段差や障害物」などのハード整備に対する不満の割合は高くなっています。またハード整備だけではなく、モラルや配慮に対して不満を持つ割合も高くなっています。

生活環境におけるバリア(障壁)を取り除いていくことと、できるだけ多くの人が利用できるユニバーサルデザインの普及は、障がいのある人ばかりでなく、全ての人にとって地域で生活を送るために役立つものです。

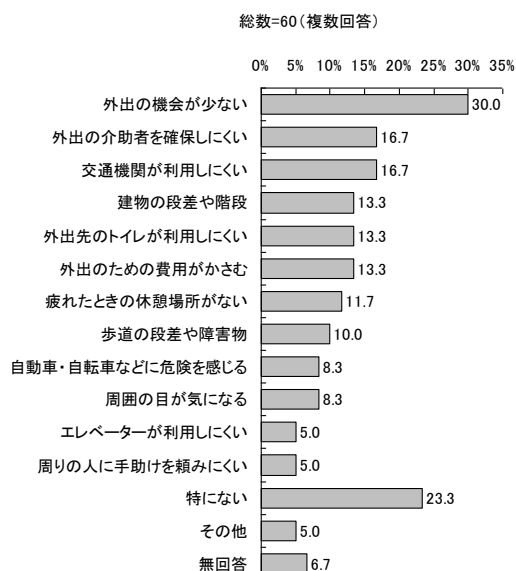
このようなことから、バリアフリーやユニバーサルデザインの実現と、市全体の障がいに関するモラルの向上に向けた取り組みを積極的に推進する必要があります。

### ■外出するとき困っていること

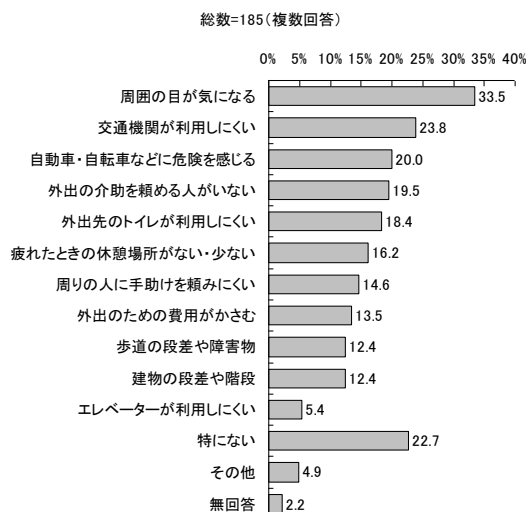
#### 【在宅の人(18歳以上)】



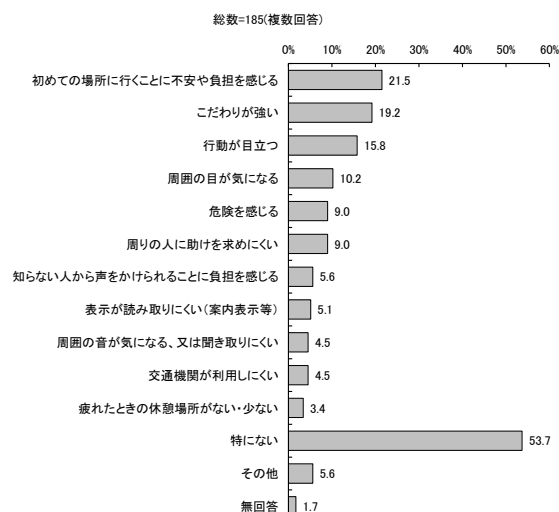
#### 【施設に入所している人】



#### 【18歳未満の人と保護者の人】



#### 【発達障がいの人(18歳未満)と保護者の人】



## ■施策の方向性

バリアフリーやユニバーサルデザインの実現と、市全体の障がいに関するモラルの向上に向けた取り組みの推進

## ■施策の展開

- ・道路移動円滑化基準に沿った駅前広場及び歩道等の改良の実施【道路課】
- ・放置自転車等の台数削減のための放置自転車等の撤去の実施【防犯安全課】
- ・路上放置物パトロールの強化【道路課】
- ・ごみ集積所まで運ぶことが困難な障がいのある人へのごみの戸別収集の実施  
【クリーンセンター業務課】
- ・市庁舎におけるユニバーサルデザインの配慮の充実【契約検査課】
- ・公共施設における障がいのある人に配慮した設備の充実【障がい福祉課】
- ・市営住宅の改修時における室内段差の解消及び手すりの設置等バリアフリー化の推進  
【住宅課】
- ・障がいの有無に関わらず誰にでも情報を伝えやすいゴシック体による公文書の作成の  
推進【障がい福祉課】
- ・バリアフリー等のハード面の整備、従業員の対応等のソフト面の強化など、民間事業者の  
障がいに対する理解と知識の普及の推進【障がい福祉課・産業振興課・建築指導課】
- ・市広報及び市ホームページを利用した路上放置物及び放置自転車等を防止するための啓  
発活動の実施【道路課・防犯安全課】
- ・障がい者用乗降場の適切な利用及び点字ブロック上の障害物除去に関する意識啓発の  
推進【道路課】
- ・「習志野市カラーユニバーサルデザインガイドライン」の周知と活用の推進  
【障がい福祉課】
- ・大規模な商業施設等の建設時における、民間事業者に対する障がいのある人に配慮した  
整備等についての働きかけの推進【建築指導課・障がい福祉課】
- ・千葉県福祉のまちづくり条例、千葉県建築物ユニバーサルデザイン整備指針の周知  
【建築指導課・障がい福祉課】
- ・公共交通機関に対する障がいのある人の安全性に配慮した整備等についての働きかけ  
の推進【障がい福祉課】

## 基本施策 (2)地域における支援体制の充実とネットワークの構築

### ■現状と課題

民生委員・児童委員は、障がいのある人の身近な地域で支援活動を行っています。障がいのある人の様々な生活上の困りごとを把握し、行政機関等につなぐ役割を果たしています。

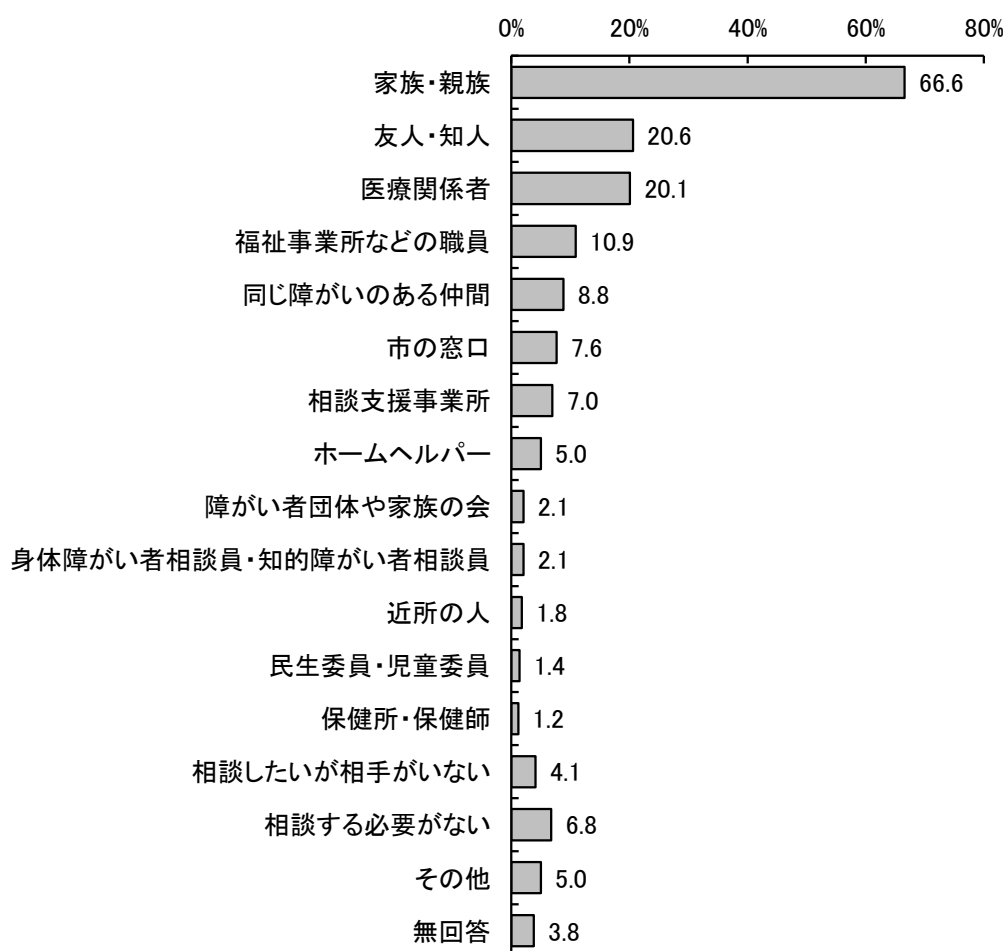
しかし、在宅の人(18歳以上)を対象にしたアンケートにおける困った時の相談先では、民生委員・児童委員の割合は1.4%と非常に低くなっています。

地域で障がいのある人を見守り、支援する担い手として、民生委員・児童委員の他にも各種相談員や、町内会・自治会、警察、自主防災組織などの関係機関がありますが、障がいのある人が地域でより一層安心して暮らしていくためには、これら関係機関等への活動支援の実施と、関係機関等とのネットワーク体制を構築していく必要があります。

### 【在宅の人(18歳以上)】

#### ■困った時の相談先

総数=1,020(複数回答)



## ■施策の方向性

民生委員・児童委員を始め、障がいのある人を地域で見守り支援する各種相談員や関係機関への活動支援の実施と関係機関等とのネットワーク体制の構築

## ■施策の展開

- ・福祉サービスに関する情報提供及び個別の相談支援活動にケースワーカーが同行するなど、民生委員・児童委員活動への支援の充実 【社会福祉課・障がい福祉課】
- ・障がいのある人及び家族の同意に基づき、ケースワーカーが民生委員・児童委員と障がいのある人をつなげることによる平常時からの見守り活動支援の充実  
【社会福祉課・障がい福祉課】
- ・相談支援事業所、民生委員・児童委員、地域相談員等との連携を強化することによる相談支援が必要な障がいのある人の早期発見や適切なケアマネジメントの実施  
【障がい福祉課】
- ・災害時に備えた、民生委員・児童委員、高齢者相談員と連携した避難行動要支援者名簿の作成 【健康福祉政策課】
- ・地域のつながりの力で、災害時の安否確認や支援等が円滑に行われることに向けた交流機会の確保 【障がい福祉課】
- ・民生委員・児童委員と障がいのある人及び障がい者団体の交流を促進するための調整、援助の充実 【社会福祉課・障がい福祉課】
- ・身体障がい者相談員・知的障がい者相談員・広域専門指導員・千葉県条例により設置されている地域相談員の周知及び活動支援の充実 【障がい福祉課】
- ・相談員相互の情報交換や関係機関、当事者団体等との連携の強化 【障がい福祉課】
- ・地域共生協議会のネットワーク機能を活用した、社会資源に関する情報取得の強化  
【障がい福祉課】
- ・地域共生協議会と地域の支援団体間の連携体制の構築 【障がい福祉課】
- ・犯罪被害の防止と早期発見に向けた警察と地域の障がい者団体、施設等との連携の推進  
【障がい福祉課】

## 基本施策 (3)市民団体・ボランティアの活動や

### インフォーマルサービスの推進

#### ■現状と課題

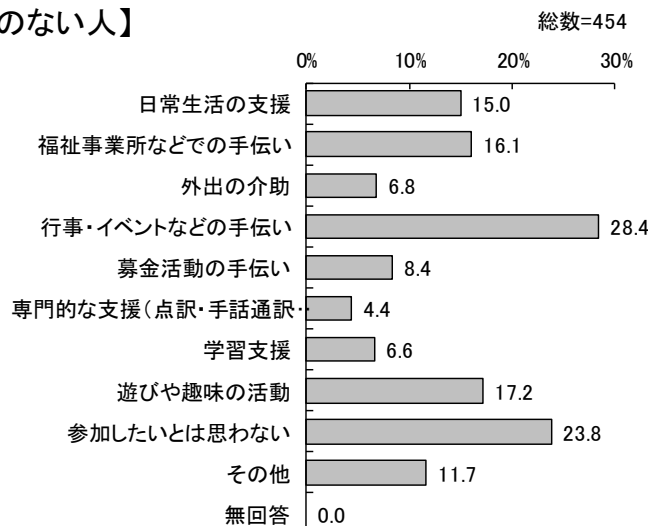
市民活動団体、民間事業者、NPO法人、ボランティア、地域住民などが実施する法や制度に基づかないインフォーマルサービスは、障がいのある人に対して柔軟な支援を行っており、障がいのある人の地域生活に重要な役割を担っています。

障がいのない人を対象としたアンケートにおけるボランティア活動への参加意向（参加してみたい活動）では、「行事・イベントの手伝い」や「遊びや趣味の活動」、「福祉事業所などでの手伝い」の割合が高くなっていますが、その一方で「参加したいとは思わない」も23.8%と高くなっています。

このようなことから、インフォーマルサービスの担い手との協力体制を推進するとともに、障がい分野のボランティア活動への意識啓発と人材育成を積極的に進めていくことが必要です。

#### ■ボランティア活動への参加意向（複数回答）

##### 【障がいのない人】



## ■施策の方向性

地域のインフォーマルサービスの担い手との協力体制の推進と障がい分野のボランティア活動の活性化に向けた、意識啓発と人材育成の推進

## ■施策の展開

- ・ボランティア活動の活性化と人材確保の充実 【障がい福祉課】
- ・民間事業者、NPO法人、市民活動団体等との協力体制の推進 【障がい福祉課】
- ・地域共生協議会社会資源開発・改善部会との連携によるインフォーマルサービス等の地域資源に対するニーズの把握と掘りおこし 【障がい福祉課】



地域のボランティア「交通安全推進隊」の様子

## 基本施策 (4)防災・災害対策等の整備

### ■現状と課題

東日本大震災を始めとした近年の災害においては、初動における適切な避難、避難所における障がいに応じた適切なケア体制の確保など、様々な課題が浮き彫りになりました。

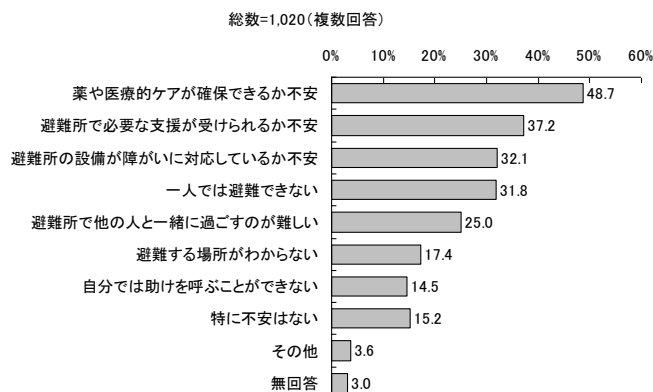
アンケート結果においても「避難所で必要な支援が受けられるか不安」や「薬や医療的なケアが確保できるか不安」の割合が高くなっています。

避難所の環境及び体制が整っていない場合、障がいのある人の生活が困難になることや、発達障がいのある人では避難所の環境に対応できないことが起こり得ます。

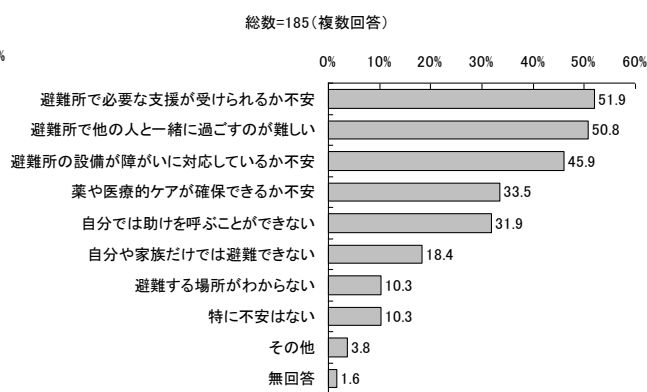
いつ発生するか予測のできない災害に対して、平時から十分に検討を行い、防災支援体制を整備するとともに、避難所の確認や自主的に必要な準備を整え、繰り返し訓練を行うことが必要です。

### ■災害時不安に思うこと

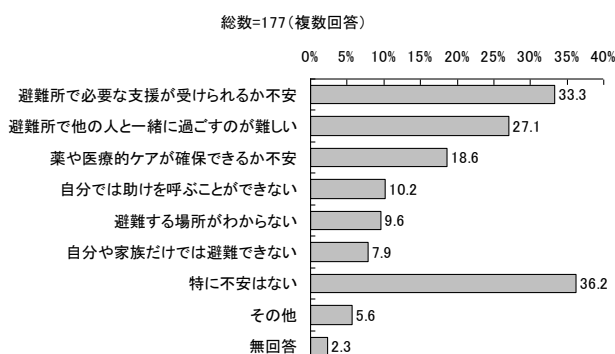
#### 【在宅の人(18歳以上)】



#### 【18歳未満の人と保護者の人】



#### 【発達障がいの人(18歳未満)と保護者の人】





## ■施策の方向性

災害時に必要な支援の提供に向けた、事前の防災支援体制の整備と訓練の実施

## ■施策の展開

- ・災害時における障がいのある人への支援について、必要に応じた「習志野市地域防災計画」の見直し【危機管理課】
- ・防災、減災対策のための経済的支援の推進【障がい福祉課】
- ・災害時の避難に支援が必要な人の把握【健康福祉政策課】
- ・災害時に一般避難所において避難生活を送ることが困難な障がいのある人のための福祉避難所の拡充【健康福祉政策課】
- ・避難所で必要な情報や支援を受けられるための備品整備の推進【障がい福祉課】
- ・障害福祉サービス事業所での災害対策の強化【障がい福祉課】
- ・災害時に医療を必要とする障がいのある人が、必要な措置を受けるための体制整備の推進【障がい福祉課】
- ・災害時に相談支援や必要なサービスが提供できる体制の整備【障がい福祉課】
- ・総合防災訓練に合わせた、障がいの特性に応じた訓練の実施検討及び参加の促進  
【障がい福祉課・危機管理課】
- ・障がいのある人の防災訓練の参加を促進するための周知【障がい福祉課】